



文章は写経のように書くのがいい

著者：香山リカ

自らのことを自己完結型の書き手と呼ぶ著者。本書では、あの「多筆」の秘密を初公開！

「文章を写経のように「サクサク」一定のペースで書く」
「自分の平均的な執筆速度を知る」
「『私には書くことがない』という人は、自由連想方式、『100の質問』方式を」
「10時間あるよりも、『15分しかない！』ときのほうが効果的に書くことができる」
「POS方式、SOAP方式で客観的に書く力をつける」……etc.

書くことになれていない人から、日々何かを書いている人まで
——文章を書くことが楽しくなる一冊。

目からウロコの「書き方」入門、誕生！
「スキマ時間」で「サクサク」「大量」に書く!?
セラピー効果もある、自分のためのライティング!?



●目次

- 1章 そもそも何のために書くのか
- 2章 「何を書くか」のを見つけ方
- 3章 どう書けばいいのか1 — 一定のペースで書く
- 4章 いつ書くのか
- 5章 どう書けばいいのか2 — 細切れに書く、ひな型を使う
- 6章 文庫本の解説を書く！
- 7章 文章は写経のように書くのがいい
- 8章 カルテ書きから学んだ「効果的な書き方」
- 9章 小説家タイプ・評論家タイプの書き方
- エピソード すぐれた文章は実用的

●著者紹介：香山リカ（かやま・りか）

1960年札幌市生まれ。東京医科大学卒業。精神科医。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を生かして、現代人の心の問題ほか、政治・社会批評、文化批評、サブカルチャー批評など幅広いジャンルで活躍している。仕事のストレス解消は本を書くこと、だと言う。

判型:46判上製
定価:1,575円(税込)
頁数:208ページ
発刊:2009年3月6日
ISBN:978-4-903908-12-0
装丁デザイン/寄藤文平

『文章は写経のように書くのがいい』 著者：香山リカ

注文欄

ご注文数

冊

* ミシマ社の本の仕入方法について（基本パターン） *

- 直接取引（返品可） * 詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
- ①掛率 : 70%
- ②納品 : 宅配便で直送します(送料はミシマ社負担)。
- ③返品 : 随時入帳可能(送料は書店様負担)。 直 [直取引メインです]
- ④精算 : 新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート(返品不可)
- 注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。

貴店名:

ご住所:

TEL:
FAX:

ご担当者:

様

通信欄

株式会社ミシマ社 営業チーム：渡辺・窪田行き
〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2-6-13 TEL:03-3724-5616

FAX:03-3724-5618